

2023年7月25日

報道関係各位

**CO2排出削減22%
再生可能資源比率99%**

**四国初 植物由来ポリエチレン使用の
バイオマス容器 導入へ**

2023年8月より順次発売

四国乳業株式会社(本社:愛媛県東温市南方955-1 社長:島原吉之)は2023年8月より、四国で初めて植物由来ポリエチレン使用のバイオマス容器を小型ブリックラインに導入し、らくれん牛乳200ml、らくれんコーヒー200mlをはじめブリック商品全品で順次バイオマス容器での生産を開始いたします。

バイオマス容器は2019年9月に発表した「四国乳業株式会社 SDGs宣言」の一環として、「環境にやさしい経営」を目指すべく導入しました。

容器は、原紙をコーティングするため内側と外側にポリエチレン加工しています。このバイオマス容器に使用しているポリエチレンにはサトウキビ由来の植物性素材を使用し、これまでの化石由来のポリエチレンと比較してCO2排出を22%削減できます。また、再生可能資源であるサトウキビを使用することで、これまで77%であった再生可能資源率を99%まで高めました。

パッケージにはCarbon Trust※1の認証ラベルを印刷し、消費者の方に対して視覚的にCO2削減を訴求しています。

四国乳業は今年、創立55周年を迎えます。この節目の年に、バイオマス容器導入で地球環境への負担低減に向けた取組を一層推進していきます。



↓(容器ラベル拡大図)



※1 Carbon Trustは2001年にイギリスで設立した組織です。脱炭素社会の実現に向けて企業、政府、団体等と協力・支援しています。上記マークを対象商品に記載することでCO2排出を減らした容器であること可視化しています。

↑ブリック容器の構造

■お問い合わせ

四国乳業株式会社 管理本部 〒791-0397 愛媛県東温市南方955-1

TEL: (089)966-1200

FAX: (089)966-1240

メール: kanri@rakuren.co.jp